

15-101

2015年12月15日

～更なる安全性の向上を目指して～

南北線で可動ステップの運用を開始します

～12月19日から麻布十番駅ほか2駅で順次使用開始～

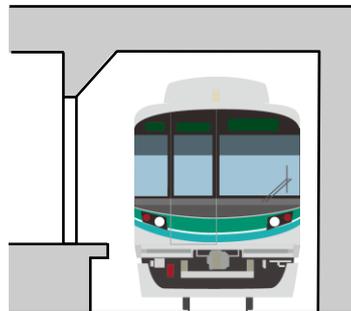
東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、お客様に安心してご利用いただけるよう、ホームでの安全対策（転落事故、接触事故の防止等）として、全駅へのホームドア設置及びホームと車両との隙間が大きい箇所への可動ステップの設置を進めていますが、このたび、南北線麻布十番駅、東大前駅及び王子駅で可動ステップ（計7箇所）の使用を開始します。

南北線では初めての可動ステップ導入となり、これにより、可動ステップは全線合計22駅、計200箇所で使用されることとなります。

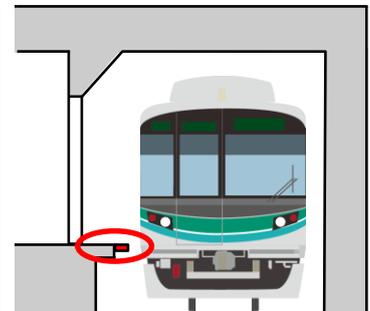
引き続き、ホーム上の更なる安全性の向上を目指して、2016年3月12日（土）から銀座線上野駅1番線（渋谷方面行ホーム）でホームドア及び可動ステップを使用開始するとともに、まずは銀座線、千代田線及び日比谷線にホームドア及び可動ステップの設置を推進してまいります。



可動ステップ



可動ステップ格納時



可動ステップ張り出し時

- 1 使用開始時期（予定）
麻布十番駅（3箇所） 2015年12月19日（土）
王子駅（2箇所） 2016年1月下旬頃
東大前駅（2箇所） 2016年2月下旬頃
- 2 可動ステップ概要及び設置箇所
別紙参照

可動ステップの概要及び各駅の設置箇所は以下のとおりです。

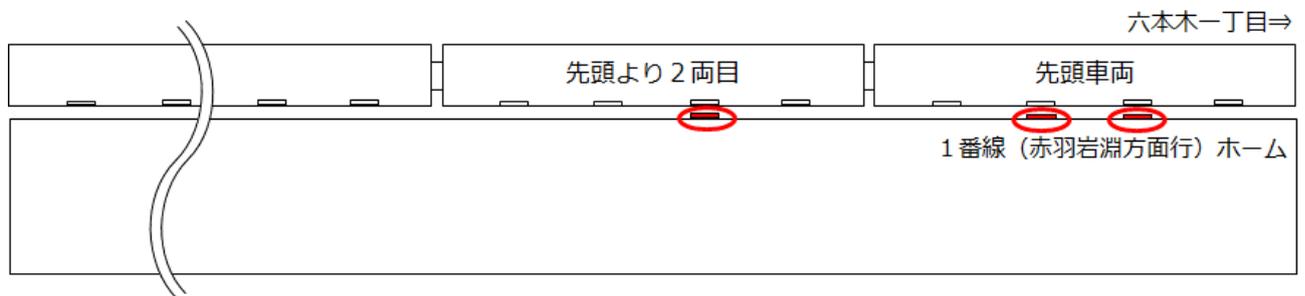
■可動ステップ概要

ホームと車両の間が多い箇所に、乗降時の踏み外しや転落防止のために設置している設備です。電車が到着すると、ホームからステップが張り出し、その後にホームドアと電車のドアが開きます。お客様のご乗車が終了した後は、電車のドアとホームドアが閉まった後にステップが格納されます。全てのステップが異常なく格納されたことを確認した後に電車が出発いたします。

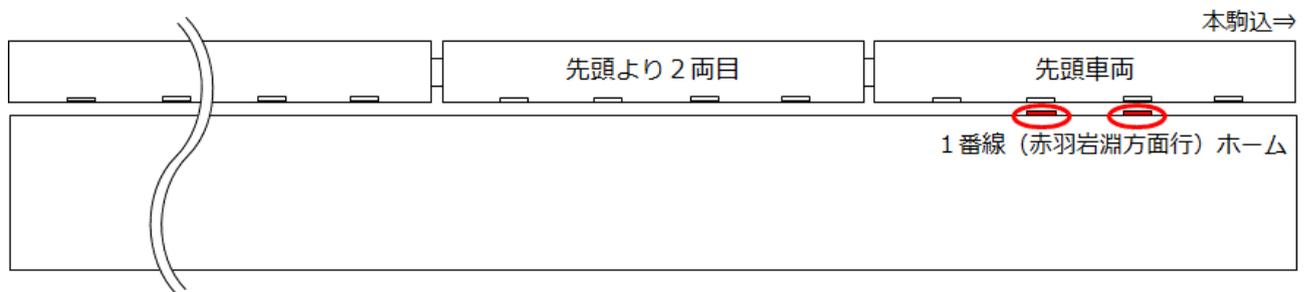
■可動ステップ設置箇所

麻布十番駅 3箇所

○：可動ステップ設置箇所



東大前駅 2箇所



王子駅 2箇所

